

朝日の山並み

発行
朝日少年自然の家
0237(62)4125
FAX (62)4126

「朝少フェスタ」は大盛り上がり!

10月1日(土) / 2日(日)の日程で、朝少フェスタが行われました。フェスタの内容は、参加者が屋台を作って「お店屋さんの店主」になったり、自分もお客さんになって食べ物を買ったり、クラフトを作ったりしました。屋台村だけの参加者も保護者や大江町の幼・小学生など100人以上が来所してくれて、1泊2日で参加してくれたお友達も加えると150人以上でフェスタを盛り上げてくれました。翌日は、 frisbeeゴルフを楽しんだり、朝少の42周年を祝つての「餅つき」をして、みんなで美味しく食べたりして過ごしました。

この企画は来年も継続実施の予定です。ぜひ、今回参加できなかったお友達も、美味しい物を食べて、楽しく活動できる「朝少フェスタ」に来てくれることを楽しみにしています。



自分たちの屋台の宣伝する屋台代表の子ども達

ちなみに今回の屋台村で出店されたお店は、食べ物屋台が、クレープ・チョコバナナ・焼きそばなど7屋台、活動屋台が輪投げや射的など4屋台の合計11屋台が、参加のお友達によってきれいに飾りつけられ、元気な呼びこみもあって、元気・笑顔いっぱい活動となりました。

参加したお友達の感想にも、「また参加したい」「今度は1泊2日で参加して、お店屋さんを出してみたい」など、来年につながる素敵な感想もたくさんいただきました。

「Let's 天才てれびくん」の撮影が、9月1日に朝日少年自然の家で行われました。



当日は、テレビ戦士の原田あかりちゃん(中1) 辻はると君(小4)、そして現地調査アンドロイドの田村4号(麒麟:田村裕さん)が来所し、本所の服部行政技能員が「遊びの達人」となり、山形「いも煮レンジャー」と対戦し、勝者がいも煮の食材をゲットして、いも煮を作って食べるというストーリーで「いかだ競争」や「魚つかみ」、「小石投げによる水切り」などに挑戦しました。

放映は10月10日でしたが、もしかしたら再放送もあるかもしれません?

その時の写真やサインを、玄関に掲示していますので、近くに来た時は見てくださいね

県朝日少年自然の家 土屋常義 所長

「つねさん」のひとり言!

心温かくなる

「ありがとう」の言葉の力



活動を終えて退所する際の別れのつどいの中で、子どもたちや企画事業に参加者の方々から「ありがとう」という言葉がよく聞かれます。

「ありがとう」は日本語で一番美しい言葉といわれ、言っても、言われてもうれしい言葉です。もちろん「ありがとう」の言葉が飛び交う空間は『笑顔』にあふれ、温かな空気が流れます。

「ありがとう」という言葉を、言われて悪い気分になる人はいません。また、「ありがとう」の言葉は、他人だけでなく、それを発した自分のからだにもこころのいい気分をもたらしてくれるのです。

また、「ありがとう」という言葉を発していると、人に優しくなれたり、些細なことでも感謝できたりして、自分を取り巻く人との関係も良好になったりもします。

普段何気なく使っている「ありがとう」という言葉・・・まさに、人のありがたみに気づける「魔法の言葉」だと思います。

自然の家での生活は、仲間と助け合い、声掛け合って課題を乗り越えていく活動がほとんどなので、活動を終えて退所するときに、「ありがとう」の言葉がたくさん聞かれるのだと思います。

人と人との関わりが希薄になってきている時代だからこそ、「実体験や人とのかかわりから生まれる感謝の思い」、大切にしていきたいですね。